

学芸員補助スタッフ紹介

皆さん、初めまして。3月よりプラネタリウムの投影を担当しています、松本 怜（まつもとさとし）と申します。

プラネタリウムの投影は私にとって初めての経験です。普段、プラネタリウムを見に行くこともあまり多くはないので、まさにゼロからの挑戦になります。ですが、「宇宙が好き、科学が好き」という気持ちには自信があります。宇宙や科学の楽しさ・魅力をたくさん伝えられるように頑張りたいと思います。

私は小さい頃から宇宙や科学に興味があり、宇宙の勉強をするために物理学の道に進みました。大学院では相対性理論や宇宙論を専攻していて、特にブラックホールに興味があったので、ブラックホールが物質を吸い込んだ後に、吸い込んだ物質の特徴（回転や電荷など）を持ったブラックホールが出来るのか？という「ブラックホールの無毛定理」と呼ばれる分野に関する研究をしていました。

実は私、学生時代は数学があまり得意ではありませんでした。なので、数学を使わない道に進もうと考えていたのですが、偶然読んだ本で、宇宙を学べる学問が物理学だということを知って、「自分が勉強したいのはこれだ！」と思い、物理学を学ぶことを決めました。宇宙やブラックホールが好きという一心で理系に進んだのです。今、その選択は大正解だったと思っています。

自分が夢中になれる世界を教えてくれた本にはとても感謝しています。

自分が心から熱中できるものに出会えることはとても幸運なことです。私が本を通して物理学と出会えたように、プラネタリウムを通して、皆さんに科学との幸運な出会いがありますようにと願いながら、これからも邁進していきます。

皆さんとプラネタリウムでお会いできる日をお待ちしています。



松本 怜(プラネタリウム担当)